

膝裏の痛みについて変形性膝関節症、半月板損傷と診断されました。その後、階段を下りようとしたら右膝裏に激痛が走ったので、違う病院で手術を受けましたが、膝裏の痛みは増えています。痛みを取る治療法を教えてください。(81歳、女性)

変形性膝関節症

KARTE カルテ Q & A



八木正義医師

変形性膝関節症とは、年齢とともに軟骨がすり減ることによって起こる病気です。最初はこわばり感が現れ、次第に正座や

術を考慮する場合に必要です。治療には、手術と、それ以外の保存治療があります。保存治療は、運動療法(リハビリ)、薬物療法、サポーターやインソールなどを使う装具療法などがあります。運動療法は最も重要で、痛みの強くない範囲でふとももの前にある大腿四頭筋の訓

ような診断で治療計画が立てられ、どんな手術を受けたかは分かりませんが、手術後も改善がみられないようなのでまずは正確な診断が必要です。膝裏に激痛が生じているようですが、内側の半月板の後ろの骨に付着している部分が断裂すると膝裏が急に痛くなることか

できるようになっていきます。さまざまな治療方法に精通している専門の医師に今後の治療について相談することをお勧めします。
(兵庫県整形外科医会、八木正義 川古川市、やぎ整形外科クリニック院長)
◇第1、3、4日曜に掲載します。

MRI検査で正しい診断を

しゃがみ込み、階段の上り下りなどで膝が痛くなります。進行していくとO脚変形が進みます。

診断では、患者の症状を聞き、エックス線撮影、場合によってはMRI検査、血液検査などで総合的に判断します。特にMRIは強い痛みがある場合や、手

練や膝関節周辺のストレッチを自宅でも行うことが大切です。日常生活で支障が大きい場合は手術を検討します。関節鏡を使った手術や、膝周囲の骨切り術、人工膝関節置換術などさまざまな方法があり、患者の状態に応じて選択します。

あり、その後、軟骨損傷が急速に進むこともあります。このような疾患も念頭に置き、MRI検査を行い、正しい診断に基づいて今後の治療方針を相談する必要があります。

近年、変形性膝関節症に対する治療は研究が進んでおり、状態や希望に応じて多様な選択が